

調査研究事業報告書

事業名	令和4年度後志教育研修センター調査研究事業報告会
主催者名	後志教育研修センター
後援者名	北海道教育庁後志教育局 後志町村教育委員会協議会 倶知安町教育委員会 小樽市教育委員会 後志小中学校長会 小樽市校長会 後志小中学校教頭会 小樽市教頭会 後志教育研究会 後志へき地・複式教育研究連盟 後志社会教育主事会
実施日時	令和5年1月12日(木) 14:00～16:00
実施場所	倶知安町文化福祉センター公民館 中ホール
対象及び人数	後志管内教員並びに教育関係者 合計67名
入場料金	無料
事業内容	<p>(1)学習指導に関する調査研究からの報告(4年次研究の3年目) 研究主題「授業力の向上と校内研究の活性化」～学びに向かう力の育成を通して～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研究の概要と柱について 2 研修講座・検証授業について 3 指導案バンクについて 4 今年度の成果と課題について <p>(2)社会教育に関する調査研究からの報告(4年次研究の4年目) 研究主題「地域づくりの担い手育成に向けた行政と住民の連携・協働」 ―副題は各自治体の実情に応じたテーマ―</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研究のテーマ・サブテーマについて 2 しりべしジュニアリーダーワークショップの経緯と事前研修について 3 それぞれのまちでの事業 4 しりべしジュニアリーダーワークショップの今後の方向性について
事業成果	<p>□事業内容(1)に係る成果 学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をより一層推進してきた。3年次目の研究では、「学びに向かう力」の育成に向けて所員が担当する3つの研修講座を集合形式で開催し、また、3年ぶりに実施できた検証授業を通して、当センターが推奨している板書型指導案を広めることができた。 また、授業力の向上をねらいとして管内教職員が日常実践している指導案や略案、授業づくりのコンテンツなどを集めた指導案バンクを作成し、教職員が気軽に使えるように始動することができた。授業力の向上と校内研究の活性化の調査研究を進めることによって、管内各校のOJTに寄与できる研究を深めることができた。</p> <p>□事業内容(2)に係る成果 「社会に開かれた教育課程」の下、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指してきた。行政と住民の連携により進められる地域づくりの担い手育成の実際を学び、具体的な課題や実践の交流を通して調査研究を深めていった。 4年次研究の最終年次は、各自治体のそれぞれの実情に応じたテーマで取り組んでいき研究主題に迫っていった。しりべしジュニアリーダーワークショップの事前研修と事後研修を通して、地域の未来を担う自己肯定感・自己有用感の高い若年層の育成を図り、中高生がお互いの活動を知り・共感し・認め合うことができ、社会教育行政の役割を明らかにすることができた。</p>



来賓挨拶 後志教育局局長 川端 香代子 様



開会式 主催者挨拶 所長 長谷川 誠



閉会式 主催者挨拶 副所長 木村 和義



来賓の方々



助言者 金本真一指導主事



助言者 田中尚史主査

令和四年度 後志教育研修センター
調査研究事業報告会
 令和四年度調査研究事業（学習指導、社会教育）報告

期日 令和五年一月十二日（木）
 会場 倶知安町文化福祉センター公民館中ホール

学習指導に関する調査研究

研究主題『授業力の向上と校内研究の活性化』

～学びに向かう力の育成を通して～（4年次研究3年目）

社会教育に関する調査研究

研究主題『地域づくりの担い手育成に向けた行政と住民の連携・協働』

～副題は各自治体の実情に応じたテーマ～（4年次研究4年目）



学習指導研究委員会

研究委員長 富樫 広介 所員

副委員長 田口 晴也 所員



社会教育研究委員会

副委員長 浦中 龍一 所員

□参加者の意見や感想（黒字…プラスの評価、赤字…マイナスの評価、青字…要望等）

1. 学習指導に関する調査研究について

1. 13の授業改善の視点という具体的な視点が興味深かったです。本校でも板書型指導案を活用しているのので、参考にしていきたいと思いました。指導案バンクについて私自身活用していますが、学校の中でもっと活用してもらえるよう周知、発信していきたいです。
2. 「やってみたい」と思うことが多くありました。自校に広まりつつあることがほとんどですが、完全に浸透していないというのが課題だと思います。
3. スライドが多く、文字も小さかったので、所々話の展開が分からなかったところがありました。
4. 中学校では同じ教科で授業を見合い、話し合う機会が少ないです。検証授業で積極的に交流し合えるよう機会をつくって頂けると授業力の向上につながると感じました。
5. 「作り方が分からない」、「一から作るのが大変」という方もまだまだ多いので、ジャムボード、ロイロノートのデータを共有できると、もっとたくさんの先生がタブレットを活用できると思う。
6. 指導案バンクの取組についてはじめて知りました。板書型指導案も含め、活用していこうと思います。学校で広めていきたいです。
7. 研修講座の取組を中心に、具体的なものを丁寧に説明頂き、有り難うございました。どの講座にも板書型指導案の取組があり、管内の小中学校の共通ツールとして有効なものだと思いました。本町は小中一貫教育を進めていますが、なかなか意識の違いがあり、難しいところを実感しています。
8. 主題設定に関わる社会的背景や研究主題と研究の方向性、研修講座や公開授業を通じた実証的な研究成果についてとても分かりやすく、よくまとめられた発表から研修センターの取組と教育現場への研究の活用について大変良く理解することができました。
9. 指導案バンクを広めて、みんなが使えるようになってほしい。今年度、自校でも板書型の指導案になったので、いろいろな学校の工夫やアイデアを見合えると良いと思う。
10. 本年度の取組がまだ後志全体に広がっているとは思えないので、まずは指導案バンクの存在を管内の教職員が知ることが大切だと感じました。
11. 実践や検証授業の子どもの様子など、動画で見られたらと思いました。また、参加者の反応だけでなく、子どもが単元や振り返りでどう反応したのかも知りたい。
12. 指導案バンクのスタートができたことは大きな前進ですね。所員の先生方の力を感じています。いいものは必ず広がるので今後の進化・発展を期待しています。使います。
13. 年々、内容が充実されているように感じます。本校からも講座に参加する教員が少しずつ増えてきています。今後ともよろしくお願ひします。
14. 大変有意義な内容だけに、もう少し時間があると良いと思いました。駆け足過ぎて、得られなかったものもありそうです。
15. 報告会でのお話を伺い、是非参加したかったと思うような研修ばかりでした。板書型指導案やミニ研修はもう少し学んで自校の校内研修で活かしていきたいです。

2. 社会教育に関する調査研究について

1. 学校教育の中で総合や社会等で積極的なまちづくりや社会教育とつながっていくことの大切さを実感しました。
2. 田中主査の助言からコミュニティ・スクールのあり方、進め方など、非常に分かりやすく捉えることができた。
3. 学校行事を参考にするのは良いと思うが、学校はこれ以上、行事・イベントは増やせないの、学校に人選

を頼るのではなく、直接、保護者や本人とコンタクトをとれる形を目指してほしい。

4. 地域づくりの担い手育成に向けた行政と住民の連携・協働について後志管内の具体的な取組について知ることができ、大変参考になりました。また、地域の担い手育成について構造的に理解を深めることができました。持続可能な地域づくりについて、学校もより良い学校教育を通してより良い社会を創ることができるよう取組を進めていきたいと思えます。
5. 社会教育についてまだまだ勉強不足だったので、詳しく説明して頂き、仕組みが分かりました。
6. 社会教育担当の役割を正確に理解することができた。本校でもコミュニティ・スクールが実施されているが、あまり機能できていない。ふるさと学習を行う際に、学校が計画し学校が行うという形に現状になっているが、社会教育との連携を行うとよりスムーズに向かったかもしれないので、活用させて頂きたいと思えました。
7. しりべしジュニアリーダーワークショップの意義について初めて知りました。意味のある良いものだと感じた一方で、現場から子どもをワークショップに参加させる側としては、何か違和感があります。不勉強で申し訳ございません。
8. 後志の社会教育を推進していくため、学校としても社会教育へのアンテナを絶やさずに連携をしていく必要があると思えました。可能な限り、社会教育の事業に参加したり、お手伝いさせて頂きたいと思えます。
9. 後志の各町村のリーダーワークショップで色々な課題に取り組んでいることが参考になりました。これからのCS導入に向けても参考になる内容でした。
10. そもそも学校と地域、関わりがかなり薄くなっているように感じている。こういう取組のみならず、先生達ももっと町の行事等に顔を出していったら、地域の人材活用等も、もっとスムーズになるし、子ども達の地域への関わりも増えるのではないかと。

3. 調査研究事業報告会の持ち方について

1. 日頃の所員業務、研究活動有り難うございます。今日の準備、運営、大変お疲れ様でした。
2. 新学期、授業をするのが楽しみになるお話を聞かせていただきました。有り難うございました。
3. 毎年この時期は天候等の影響で集まれないこともあると思えますので、オンラインの発表もありなのかなと思えました。
4. 他の研修センターにはあまり見られない学習指導と社会教育についての調査研究が進められており、大変有意義な報告会であったと思えます。
5. 他管から来て、初めて研修センター事業に触れる場に参加させて頂きました。勤務校の先生方もですが、研修講座に参加するくらいなので、それ以外の部分での研修センター事業(授業実践や指導案バンクなど)がもっと広く管内の学校の実践に還元されたら良いと思えました。
6. 研究紀要の表紙や裏表紙に指導案バンクのQRコードを入れてほしいです。
7. 小規模校の多い後志だからこそ、子ども達の好奇心をくすぐり、学びに向かう力を育成するには、企業、NPO、文化団体、スポーツ団体などとの連携が重要だと感じています。形骸化したバラバラしたものではなく、実のある活動をしたいです。
8. 次年度以降、センターの取組によって先生方の研修がどのように変わったのか、子どもの学びに向かう力がどう育成されたのか知りたいです。
9. 本報告会に初めて参加させて頂き、理解しているつもりでいたものでも、視点の違いや実際に携わっている方々の生の声を聞くことで、研修・研究の大変さと大切さを改めて実感したところです。次年度も自分を含め、本校の先生方にも積極的に研修講座にさせて頂き、スキルアップをしていきたいと感じました。
10. 後志に勤務していたときは、後志研修センターの各事業は身近なものであったが、小樽で勤務していると少し関わりが薄くなってしまいます。小樽の先生方にセンターの事業をどんどん伝えていきたいです。